

10.23ガイドウォーク参加者募集

テーマは、『幼稚園児のころ』を懐かしむ

京王線「つつじヶ丘駅」をはさんだ周辺を歩きます。

昭和32年に「金子駅」から「つつじヶ丘駅」へと名前が変わり、半世紀近くたちました。市内でもいち早くベッドタウン化が進んだ『つつじヶ丘地区』はどのように変わったのでしょうか。

“金子のイチョウ” “なまこ壁” から続く古民家、金龍寺境内、常楽院の歌碑・・・そしてアレッ、こんなところに！！歩いてのお楽しみです。

日時：平成16年10月23日（土）午前10時～正午

集合：つつじヶ丘駅北口

定員：申込み順20人

申込み・問い合わせ先：環境保全課 0424-81-7086



これだけ長いなまこ壁は珍しい



金龍寺の大門



金子のオオイチョウはいつから調布のまちをみているのでしょうか

調布の自然 生き物編 その7

バードウォッチング（陸の鳥）

木の葉が落ちるこれからは見通しがよくなり、春先の繁殖期と違いむしろ“トリをみるには”絶好の季節になりました。次のことを参考に多に楽しんでください。

<モズ>

比較的に大きな頭・頭頂と体の下部分は茶色が目立ち、眼を横切る黒い線と腰にしろ斑があるオス、（成長メスは褐色の過眼線）長い尾をくるくる回す・また近くにいる鳥の声をよくまねる物真似上手です～百舌。

猛禽類と同じように鋭く曲がった嘴をしています。捉えた昆虫やカエル・ミミズなどを木の枝などに刺し保存食にすることをモズのハヤニエといい、場所を時々忘れることがあります。

以前、軒先につるしたインコの籠を襲撃されたことがありました。...ご注意。

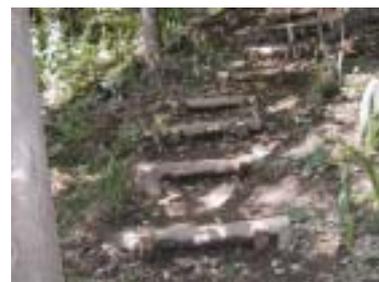
畑やはらっぱの杭や低木によく止まります。エサをとるときや移動するときには急降下し地面スレスレに飛び急上昇し再び杭や枝に止まります。これをモズのはらすり飛行といいます。

<カラ類の混群>

冬になると市内でも深大寺周辺の林、崖線の林に多く現れますがちょっとした林にも現れます。地鳴きのチーチーギーに誘われ静かに待っていると近くまで寄ってきますよ。シジュウカラ・ヤマガラ・エナガ・メジロ・コゲラ・それぞれ餌を取る位置が違いますのでその見極めをするのも楽しみの一つです。

入間・樹林の会

9月12日は、階段の補修作業と台風後の折れた枝や落ち葉の片付け、西側樹林地の観察をしました。立ち枯れた杉2本を伐採して、補修材にあてるなど階段づくりの作業も手馴れてきています。樹林地では、ツククサ・ヤブジラミ・ヒヨドリジョウゴ・ハナタデ・クサギのほかヤブラン・イノコヅチ・ヌスビトハギ・チヂミザサ・ミズヒキソウが咲いていました。キノコが何種類も生えてきていたのですが、残念ながら名前も食用になるのかもわかりません。キノコ名人に教えてもらえればいいのですが。マテバシイのどんぐりも落ちており、熟した数珠ダマの実も採取できました。地を這っていたアマチャヅルもお茶



にしようと挑戦中です。本当に多様な植生になりつつあります。

初夏に笹刈りをした西樹側林地は、柔らかな陽もさしこみ、ヤブランの花が咲き誇っており、将来はヤブラン群生地へと、期待もふくらみます。雑木林をふきぬける風は、作業後の一服の清涼感をもたらしてくれました。12月のお楽しみ会はここでという声もあがっています。



しかし残念ながら、新たな粗大ごみもみつかりました。人が入るのは歓迎ですがこれはいただけませんね。これからは、作業終了後に両方の樹林地をみていくことも必要のようです。



来月は、根本さんに方形柵調査とその他の植物調査についてアドバイスをもらい、その後保全作業（ごみの片付けと補修作業など）をする予定です。（あべ）

駐車場横のクサギの花

04年度 雑木林塾開講



9 / 25 (土) 市役所第4会議室 10:00 ~ 開講式
参加者 14名+4名(職員・多摩川センター)
13:30 ~ カニヤマ視察、深大寺用水等の話

4年目となった雑木林塾の開講式が行われました。今年度初めての参加者は6名(内1名は欠席)。人数は少なめですが奥多摩での作業経験者もいて頼りになりそうなメンバーばかり。その他、初年度の講座を受講した2人が又新たに学びたいとのことで2度目の参加となったほか、3年目4年目の生徒も合わせて全部で17名となりました。

午前中は新入生対象に塾の目的、今までの講座の内容紹介、今年度の予定、自己紹介などを行いました。

午後はカニヤマに移動し、保全課課長の小豆畑さんから付近の地形について説明をいただきながらあたりを散策しました。深大寺用水のことや、高速道路ができる以前の地形や水路についての話は興味深いものでした。ヤブニッケイの葉がとても甘いこと、ムクノキの実は干し柿の味がすることなども発見。来月から正式に始まる講座が楽しみ。

環境モニター

9月4日(土) 晴れ 10:00~13:00
参加6名(多摩川センター及び職員含む)

前は標本つくりのためワンドには降りたが、観察は充分にできなかったため、今月もワンドの観察をすることになった。ワンドは3回目の観察となるので、そうそう新しい植物は出てこないだろうとたかをくくっていたが、秋はイネ科の小穂が出揃う時期でもあり、また新たな名前がいくつも列記された。目立ったのはホテイアオイとウォーターレタスの繁殖ぶりだろうか。特に被害を及ぼすという話は聞かないが、帰化植物が我者顔にはびこるのは困ったものだ。花が目立っていたのはイヌキクイモ・センニンソウ・ガガイ



イヌキクイモ



センニンソウ

モ・クコ・アレチウリ・タデ類・そして何故かツユクサ。今年度は「40種類は標本を作りたい、また写真もできるだけ撮ろう」という目標があるので2時間ほどの時間内にメモをとったり、採取をしたり、写真を撮ったりとかなりハード。調査方法とデータ処理については今後も考える必要がありそう。

次回は10/2、二ヶ領上河原堰堤防法面調査をします。

ちょうふ DE 田んぼ日記 その17



リレーエッセイ (保全課職員担当)

自然って何だろう

この頃、熊や猪が山から下りてきて人のエリアを荒らしたり、スズメバチが大量に発生して人々に危害を及ぼしています。野生動物たちの反乱です。どうしてでしょうか。昔から動物達は生きるためだけの食べ物を食べ、動物たちのエリアの中で生存してきました。動物たちの生存・生活基盤の自然が変化してきたせいでしょうか。希少生物の保護が進む中、今希少でない動物たちも生きるため苦労しているんだ。なぜ、こうなってしまったのか。地球の自然は、地球に生きるすべての生物のもの。人間も動物もその仲間です。犬や猫・カラス・鳩・熊・猪たちが地球の自然を壊してしまったのでしょうか。いいえ、壊したのは私たち人間です。わがままな人間だけの文化的で健康・快適な生活と引き換えに。

私は映画が好きです。映画の世界では、近未来の人間社会はどう表現されているか。「猿の惑星」は自然が残されているので、まだ救われませんが、将来に渡り、自然と共存していくことを真剣に考え行動していきたいものです。(阿見)

たくましい稲、実りを迎えました。

今年の水不足については前回のレポートで紹介しましたが、その後雨に恵まれるでもなく、台風ばかりの被害が目立つ8、9月でした。

それでも、私たちの田んぼの稲は、枯れることなく育ち、稲穂をたれています。一時は今年の収穫をあきらめる覚悟で天気とにらめっこし、水を撒いたりしました。決して作柄は良いといえないでしょうが、なんとか収穫の時期を迎えることができたのは、なによりの喜びです。

9月12日には「かかし」をつくりました。今年もユニークなかかしたちが、道沿いにひしめき合い、田んぼを通りかかる人たちが(鳥たちも?)びっくりして足を止めています。

9月19日は「炭焼きキャンプ」。午前中は芋掘り、そして火起こしとお昼の用意をしました。子供たちが思い思いに組んだかまどの薪は、みな失敗することなく燃え上がりました。その火でご飯を炊き、掘った芋で味噌汁、サンマを焼いておかずを作り、おいしい昼食となりました。午後は「花炭み」焼いてみました。みなうまくてきたようです。

本当は一泊の予定でしたが、キャンプ場利用者の心無い行動で近隣から苦情がやまず、宿泊が禁止され半日体験となりました。緊急処置だとは思いますが、貴重な体験ができる環境を残すための努力を続けてほしいものです。

これから稲刈り、脱穀、もみすりなどの作業が控え、また田んぼは忙しくなりそうです。(たんぼの学校 こんどう)

イベント情報

環境モニター

日時：10月2日(土) 10:00～15:00
 場所：市民プール南土手ベンチ付近
 内容：午前・植物調査
 午後・ガイドウオーク下見
 持ち物：ルーペ、ビニール袋、スコップ

子どもエコクラブ

日時：10月9日(土) 15:00～19:00
 場所：多摩川市民広場
 内容：多摩川の野鳥・秋の虫・さかなたち
 の観察
 持ち物：網・飲み物・軽食など

雑木林塾

日時：10月16日(土) 10:00～15:00
 場所：佐須ふれあいの家(佐須図書館)
 内容：雑木林とくらしのかかわり
 持ち物：筆記用具ほか

入間・樹林の会

日時：10月17日(日) 9:30～12:30
 場所：入間地域福祉センター
 内容：方形枠調査および保全作業
 持ち物：軍手・飲み物・作業できる服(あればナタ・ノコギリなど)

深大寺周辺情報

10月16日から11月20日期間中の土曜日を中心に男女ペアをそば祭りに招待。詳細は、市HPをみてください。初日17日は神代植物園バラフェスタの最終日です。お出かけください。

今年のヒガンバナ

9月5日
 カニ山でヒガンバナの咲いているのを見ました。今年初めてです
 9月6日
 東京都調布市布田4丁目の道路沿いの畑に、ヒガンバナが10本くらいつぼみをつけており、その中の1本が咲きはじめていました。
 9月23日
 例年なら満開のはずなのに、もうすっかり咲き終わりました。

ちょうふ環境市民懇談会メーリングリストに参加しませんか？

ちょうふ環境市民懇談会では、多くの方と日常的に意見交換を行うために、メーリングリストを運営しています。参加希望の方は下記アドレスにご連絡ください。問合せ・申込み：(尾辻)

kp5y-otj@asahi-net.or.jp

環境市民懇談会 連絡会議に参加してみませんか？

連絡会議は各プロジェクトや市内で活動しているグループの情報交換の場です。現在活動している方、これから何かやってみようかなと思っている方、どなたでもお気軽にご参加ください。

【編集後記】

へびやまの北側がきれいに整備され畑だったところにまっすくな舗装道路ができました。ゴッホの糸杉の絵のような景色だったのに…。じきに住宅が立ち並び以前の風景など思い出せなくなるのでしょうか。(K)

< 会議のスケジュール >

日時	場所	活動名/内容
10月7日(木) 18:30～20:30	たづくり12階 1202会議室	環境市民懇談会 運営委員会
10月21日(木) 18:30～20:30	たづくり3階 305会議室	環境市民懇談会 連絡会
10月25日(月) 13:30～16:00	市役所3階 環境部会議室	ニューズレター 編集・次号企画

ちょうふ環境市民懇談会は、調布の自然環境を保全・改善・回復していくために、「話し合いの場や、活動の交流・支援、人材育成、啓発活動、情報の収集や発信」といった活動をパートナーシップをもとに進めていくことを目的に設立されました。ぜひ、様々な環境保全活動へ参加してください。

お問合せ先：調布市環境部環境保全課
 TEL: 0424 - 81 - 7086

E-mail: kankyuu@w2.city.chofu.tokyo.jp

発行：ちょうふ環境市民懇談会